

さわやか愛知とともに歩んでくださるケアワーカーの一人ひとりを
ご紹介していくコーナーです。

ゲストは 三好義人さんの奥様の暢子さん

1996年、三好義人さんは大手製鉄会社を定年まで勤め上げた後、介護保険制度が始まる前にたすけあいの会の活動を開始した。その後、さわやか愛知の法人格取得時に理事に就任され、長年にわたりさわやか愛知を支えてくださった。2019年ご逝去。今回は、夫人の暢子さんとお嬢さんの美香さんにお話を伺い、三好さんを偲ぶ。



三好さんが定年後の活躍の場にさわやか愛知を選んだのは、一足先にさわやか愛知の会員になった元同僚の紹介だった。「活動するなら中途半端は嫌」とヘルパー資格もすぐに取った。

奥様の暢子さんは「知多に住んでいるのだから知多で活動すればいいのに。自分たちも助けられる立場になるかもしれないのだから、セーフティーネットのためにも」と勧めた。が、義人さんは「地元で顔見知りだと、利用者のほうが気を遣うから大府市でいいんだ」と答えた。

「夫は慎重な人だったので、双方の気持ちを重視したのでしょう」

九州出身。早くに両親を亡くし、五人兄弟の長男として、遺された幼い弟妹を育て上げた。「自分は親の介護ができなかった。せめて人の役に立ちたいし、介護や介助をできることがありがたい。障害児のケアも誰かがしなければならぬこと。親の代わりに自分ができるのは使だ」会社勤めの時代も、よく後輩を自宅に招いた。

「単身で就職した若者が淋しいだろう、とほっとけなかったのね。非行に走った子の面倒もよく見た。その子の親と協力して暴走族を止めさせたりしたことも。私もよく巻き込まれたのよ」と暢子さん。「夫の元々の気質なのでしょう。自分も若い時には助けられたのどと言っていたわ」家庭にあっても、誠実で真面目で働き者で、思いやりを態度で示す父親だった。

暢子さんは退職後、地域のコミュニティで数々の活動をこなしている。

「人と関わることが好きなのね。そして、身体3倍、頭5倍動かす。それが働くことと覚悟はしている」「夫も、とにかく利用者が最優先だった。責任感も強くボランティアだからいい加減、というのは駄目と。生きがい・やりがいを感じて生き生きと活動していた」

三好さんでないと、という利用者も多かった。

「母がしっかり自分の道を歩んでいるので父も心強かったでしょう。それゆえ自分の道に専念できたのでは」とお嬢さんの美香さん。

長く強く活動し続け、でもいつもニコニコしていた三好さん。そのバックボーンは、このご家庭にあったのだ。

「せっかく関わった仕事なんだから、真剣に生真面目に誠実に、相手の立場に立つ視点を忘れないことが大事」と夫婦でよく話したそうだ。

「母を介護したら“親の世話”、隣のおばさんを介護したら“仕事”ってじゃない。相互扶助って助けられる側も当然と思わず、対等の関係でないね心の持ちよう、切替が必要よね。そして、頑張っている人が疲弊しないで活動を続けられることも大事。その人の人生も豊かにならないとね。」

暢子さんの最後の言葉に、三好さんの笑顔がまた思い浮かんだ。



昨年の理事会の折、インタビューの依頼状をお渡ししようとして用意していたが体調不良でお休みされた。入院の報せが届いたのはまもなくだった。

遅きに失した後悔が続いた。時期を見て「落ち着かれたらお話を」と恐る恐る連絡を差し上げたのだが、即、ご快諾いただき今回の運びとなった。

12年間のご趣味のつまみ細工のつるし雛をお土産にお持ちくださり、タウンのレストランの高い天井に飾った。お二人の思い出をうかがいながら、一幅の絵のような家族の絆を拝見でき、幸甚のひとときだった。

次回は 川瀬正枝さんです

さわやかデイサービス & タウン

新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式に準じて営業している



さわやかタウンのレストランです。子供の日にはヘルパーの近藤さんが作ってくださるさわやか農園のイチゴを利用者様と収穫をしました。かしわもちとイチゴを添えて豪華なおやつになりました。



料理や食器類による間接的な飛沫感染の予防として通常営業での大皿料理ではなく
・シェフおまかせワンプレートランチ
・お持ち帰りシェフのおまかせ弁当
としました。
さわやか会員のみでの対応で一般の方は見合わせていただいています。

コロナウィルスに負けません！



さわやかデイサービスです。今回の新型ウィルスにより改めて感じたことがたくさんあります。

- ①笑顔で楽しく会えること
- ②当たり前前が当たり前ではないこと
- ③何より人の優しさを感じたこと
- ④困ったときはみんなで協力すること
- ⑤笑うことで免疫力がアップすること

こうやって手作りマスクをたくさん⇒ご寄付くださった方や、紙マスクや消毒のご寄付そして何より温かい言葉、本当にうれしく思います。



さわやかデイサービスのご利用者様はとても元気で体調を崩す方、お休みされる方が少なく毎日笑い声が響きます。



もちろん、**三密**は避け『手洗い・うがい・消毒・換気・マスク着用・栄養・休息』などをしっかり行いました。そしてよく笑い楽しみウィルスをやっつける！そんな気持ちもとても大事だと思います。

